

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腫瘍-宿主関連因子による膵癌術後の再発リスク因子の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2014年2月1日から2022年12月31日に昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科で膵癌の手術を受けた患者さん
2. 研究目的・方法 膵癌の術後再発は高率であり、これまでに複数の腫瘍進展度因子に基づく再発リスク因子が報告されてきました。近年、D-dimer、好中球/リンパ球比（NLR）、血小板/リンパ球比（PLR）やGlasgow Prognostic Score（GPS）、Prognostic Nutritional Index（PNI）などの腫瘍-宿主関連因子が複数の癌腫の再発マーカーとなることが報告されています。本研究は、腫瘍-宿主関連因子が膵癌術後の再発リスク因子となり得るか検証することを目的とします。 上記項目と各種臨床因子に基づき、累積再発率を検討しリスク因子を同定します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年9月30日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 膵癌症例の患者背景、術中因子、病理学的所見、術後合併症、入院期間、術後補助化学療法、腫瘍マーカー、HbA1c、alb、PLT、D-dimer、好中球/リンパ球比（NLR）、血小板/リンパ球比（PLR）、Glasgow Prognostic Score（GPS）、Prognostic Nutritional Index（PNI）
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。
6. 研究組織 研究責任者 昭和大学藤が丘病院 消化器一般外科 峯岸 裕蔵

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 消化器一般外科

氏名：峯岸 裕蔵

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151(内線番号:5414)